

【5】出雲市立佐田中学校

5-1 学校の沿革・概要

所在地	出雲市佐田町八幡原 200 番地
校長	石倉 康民
生徒数	1年=35、2年=21、3年=31、特別支援学級=4 計 91 名

- 昭和 2 2 年度 飯石郡西須佐村、東須佐村、簸川郡乙立村組合立出雲須佐中学校・窪田村立窪田中学校 設立
- 昭和 2 5 年度 飯石郡西須佐村東須佐村組合立出雲須佐中学校と改称
- 昭和 2 8 年度 飯石郡須佐村立出雲須佐中学校と改称
- 昭和 3 1 年度 簸川郡佐田村立出雲須佐中学校・佐田村立窪田中学校と改称
- 昭和 3 6 年度 簸川郡佐田村立佐田中学校設立（名目統合）
- 昭和 3 8 年度 新校舎完成、実質統合（寄宿舎完成、「清溪寮」開設）
体育館完成、校舎竣工式挙行
- 昭和 4 2 年度 中学校創立 2 0 周年
- 昭和 4 4 年度 校名を簸川郡佐田町立佐田中学校と改称
- 昭和 5 6 年度 佐田中学校統合 2 0 周年記念事業実施
- 昭和 5 9 年度 「緑の少年団」結成
- 平成 3 年度 佐田中学校統合 3 0 周年記念事業実施
- 平成 8 年度 佐田中学校創立 5 0 周年記念事業実施
- 平成 1 5 年度 「緑の少年団活動発表会」県最優秀賞受賞
- 平成 1 6 年度 「緑の少年団活動」全国表彰（群馬）
全国育樹祭（徳島）参加
出雲市に合併、出雲市立佐田中学校と改称
- 平成 1 9 年度 「緑の少年団活動」日本善行会春季善行表彰
- 平成 2 3 年度 佐田中学校統合 5 0 周年記念事業実施
- 平成 2 6 年度 「小さな親切」運動実行賞受賞（間伐材を使用したベンチ寄贈）

佐田町は出雲市の南端に位置し、中国山地の分水嶺に源を発する神戸川の本・支流が町の中央を貫通している典型的な中山間地帯といえる。山の占める面積は85%以上であり、標高400m以上の山岳が22峰にも及ぶ。

この里の歴史は古く、出雲風土記にも佐田郷、余戸里（伊秩郷）などの名があげられ、早くから集落が開けていた。

現人口は約3,600人となっており、就業人口の40%が農林畜産等の家業経営に当たり、傍ら土木建設業や町誘致企業、また出雲市内の企業に従事している。

5-2 学校林の現地調査

所在地 出雲市佐田町反辺2598番地

面積	林種	樹種	歩合	林齢	樹高	標高
1.88ha	人工	スギ	100	31	約20m	約250m



図 1-1 佐田中学校学校林位置図



図 2-2 佐田中学校学校林概略図

佐田中学校の学校林は校舎より約3km離れた場所に位置し、「目田森林公園」に隣接している。昭和59年に結成された「緑の少年団活動」によって当時の生徒が植林したスギ林であり、31年が経過している。

敷地内の高木層はすべてスギであり、やや密に生えている。亜高木層及び低木層はない。林床はササが繁茂しており、特に駐車場側に多く、佐田中学校の学校林であることを示す看板も埋もれている状態である。また、ミツバ群落がみられることからやや湿った状態の林であることがわかる。

駐車場隣に林内への入り口があるので入るのはたやすいが、林内は薄暗く、好んで入

りたいと思えるような景観ではない。年1回の間伐体験だけでは適度な森林管理には至っていないようである。

5-3 学校林活動の調査

聞き取り相手	教頭 長澤郁夫
カリキュラム	総合的な学習の時間
対象学年	3学年
利用方法	間伐体験、間伐材を使ったベンチづくり。ベンチは市内の各施設に寄贈している。今年度は8本間伐予定である。
利用頻度	年1回。ベンチづくりは秋以降、技術の時間に行う
外部講師・委託先	出雲地区森林組合、東部農業振興センター、佐田町建築組合員、須佐コミュニティセンター長、窪田コミュニティセンター長、地域ボランティアの方々
課題	過去3年間「緑の少年団活動」の一環として行っており、助成金で委託先の講師や現地指導をお願いして活動している。助成金対象外となると金銭面や指導方法など自校で行うのは困難になる。
今後取り組んでいきたいこと	森林活動をとおして地域を知り、森の役割やその材の活用方法なども学んでいくことで地球全体の環境学習につなげる総合的なプログラムを、時間をとって行いたい。

佐田中学校が重点を置いている理念の一つに、『「心のふるさと」となる学校づくり（ふるさと佐田に愛着と誇りを持ち、地域の将来を担う生徒の育成）』があり、その一つが「緑の少年団活動」となっている。先輩たちが植えたスギを自分たちで間伐することで世代を超えたつながりができ、地域の森林を育てて管理しているという誇りが生徒たちに芽生えているはずである。

学校林の間伐は毎年行っている学校行事なので保護者はもとより、地域住民への認知度もあがってきている。山陰中央新報にも取り上げられ、県内への普及啓発にもつながっている。さらに、間伐した材でベンチを作って寄贈（出雲市役所、多伎町木の体験広場、河南中学校など）することで市内各所から好評を得ている。

こうした取り組みは生徒や教職員だけでなく、地域住民にとっても非常に有意義な森林活用方法であり、今後も継続して行なっていくことを強く望まれている。

添付資料 5



写真 5-1
間伐体験 1 (平成26年6月2日)



写真 5-2
間伐体験 2 (平成26年6月2日)



写真 5-3
ベンチづくり体験 (平成26年
12月18日)



写真 5 - 4
学校林外観（平成27年5月21
日）



写真 5 - 5
学校林内観（平成27年5月21
日）



写真 5 - 6
学校林林床（平成27年5月21
日）